

企 画・計 画 書

「ピンクリボンキャンペーン in Akita 2009」

乳がん検診率向上ならびに乳がん死亡率減少のための
一般市民への啓発活動

平成21年7月1日

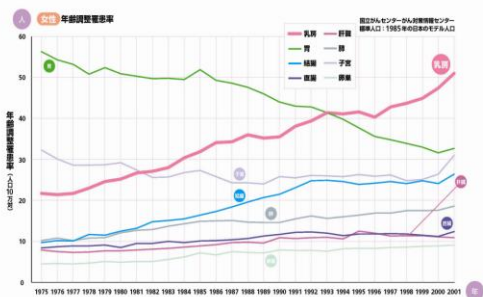
秋田県ピンクリボン実行委員会

【背景】

乳がんは女性に発生するがんの中で第一位であり、年間約 4 万人の方が罹患し、約 1 万人の方が死亡されている。秋田県でも発生数は上昇してきている。生涯で 20 名に 1 名が乳がんになる、とても身近な病気です。

減少の最大の原因は、乳がん検診受診率の向上にある。欧米では軒並み 60%以上の乳がん検診受診率となっている。

罹患率

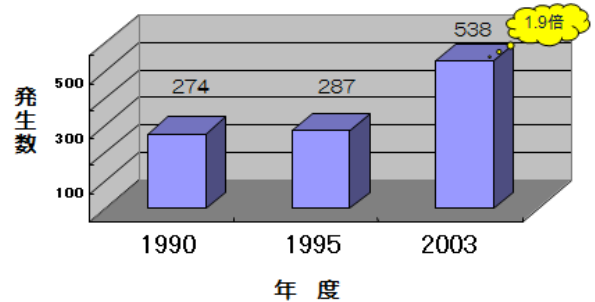


世界の乳癌検診受診率

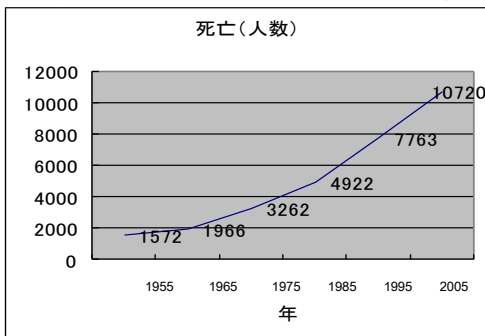
アメリカ	60.9%
オランダ	77.5%
イギリス	75%程度
スウェーデン	80%程度
ノルウェー	79.5%
日本	
検診全体※	17.3%
マンモグラフィ併用	数%

※平成13年国民生活基礎調査から計算
受診率の向上が急務である。2年間で50%以上が目標

秋田県の現状: 乳がん発生数の変化



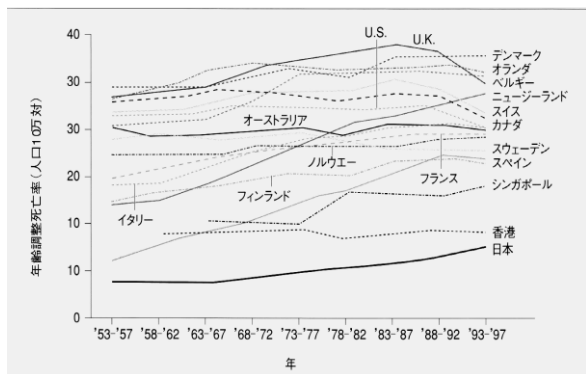
日本における乳癌死亡数の推移



乳がん死亡数は増加の一途にあり、死亡数減少に向けた対策が大きな課題である。

日本では全体でまだ 10%台であり、秋田県も同様である。乳がん検診により早期乳がんの発見率が向上し、将来的には死亡率の減少が見込まれる。

毎年 10 月はがん検診受診推奨月間で、特に乳がんの場合、欧米で始まったピンクリボン活動が日本でも盛んに行われる様になった。東京、福井、仙台など全国各地で検診受診を促す活動：ピンクリボンウォーク、ライトアップ、ボランティアによる乳がん検診啓発運動が盛んに行われている。



欧米では死亡率は減少してきているが、日本ではまだ上昇中である。欧米での死亡率

【目的】

秋田県における

- ① 乳がん検診受診率の向上
 - ② 早期乳がん発見数の増加
 - ③ 乳がん死亡率の減少
- を目的とする

【がん対策基本法】

平成19年4月1日施行の「がん対策基本法」には、各検診率を50%にあげることが盛り込まれ、実際秋田県がん対策基本計画にも同様のことが盛り込まれている。

このように各検診の重要性が認識され始めている現在、女性にとって一番身近ながんである乳がんという病気は、乳がん検診を受け早期発見・早期治療により、完治が可能な疾患であることを認識していただく必要がある。

ただし現在の検診受診率では今後乳がん死亡率を減少させることは非常に困難であり、さらなる検診受診率の向上が望まれる。

【ピンクリボン活動】

ピンクリボンは乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボルマークであり、欧米で乳がん検診を受けようという運動が広がっている。日本でもYahoo、AVON、日立、製薬メーカーなどたくさんの企業が、このピンクリボン活動に理解を示し、協賛並びに援助しているのが実態である。

そこで、秋田県でもこのような、乳がん受診率の向上を目的としたピンクリボン活動を始め、乳がん検診の重要性を広く社会に広める必要があると思われ、昨年からのピンクリボンキャンペーン in Akita 活動を開始した。

【対象】

秋田県在住の30歳以上の女性とその家族

【協力者】

1. 患者さんの会：あけぼの会、Smile(すみれ)の会、その他の患者さんの会
2. 医療関係者：医師、看護師、薬剤師、放射線技師、ソーシャルワーカー、各病院など
3. 行政関係：秋田県、秋田市、医師会、放射線技師会、看護協会、など
4. 協賛企業：製薬会社、AVON、日立、協賛いただける各企業
5. その他：理念に賛同いただける個人、各種団体など

【活動計画案】

1. **9月27日(日)アルヴェ**を会場に、乳がん検診啓発行事であるピンクリボンキャンペーン in Akita 2009 の開催
2. SELION 秋田タワーのピンクライトアップ (9月中旬から10月31日まで)
3. Mayu まゆ -こころの星-の上映
4. 無料乳がん検診
5. ピンクリボンウォーキング
6. 乳がんに関する講演：2題
7. 乳がんモデルの触診体験コーナー
8. 吹奏楽による演奏
9. 乳がん、がん検診に関する資料の配付
10. J-POSH グッズの販売 など

【活動経費】

協賛される個人、団体からの募金を基本
その他ボランティア活動
行政からの支援を予定

以上、ご協力のほどお願いします。

昨年の結果

開催日：平成 20 年 10 月 26 日

会場：秋田市セリオンプラザ

ご協力いただいた機関

後援：5 団体

協力：34 社

開催内容

- 1、 乳癌講演
- 2、 無料乳がんマンモグラフィ検診
- 3、 「余命 1 カ月の花嫁」上映
- 4、 乳がんモデル体験コーナー
- 5、 J-POSH グッズの販売
- 6、 セリオタワーライトアップ
- 7、 乳がんに関する資料、グッズの配布など

参加人数：約 150 名

ボランティア数：約 30 名

参加者の感想

- 1、 講演内容が分かりやすかつ
- 2、 ぜひ今後も継続して欲しい
- 3、 もっと人数を集めてみては
- 4、 会場が分かりにくかった
- 5、 自己検診しますなど

会場風景：熱心に講演を聞いていました



ピンクリボングッズの売り上げ

(約 10 万円の売り上げ J-POSH 基金へ寄付しました)



マンモグラフィ検診車 (秋田県保健事業団)



秋田魁新聞の報道記事 (20, 10, 27)



ピンクリボンキャンペーン in AKITA 2009 の運営予算（案）

〔収入の部〕

項 目	予 算 額	備 考
昨年繰越金	357,058	
協賛金など	1,100,000	
合 計	1,457,058	

〔支出の部〕

項 目	予 算 額	備 考
会場費	160,000	アルヴェなど
会場設営費	300,000	看板・音響設備一式など
映画上映費	300,000	Mayu－こころの星－上映費
ホームページ費	130,000	開設、維持費など
広報・広告費	150,000	チラシ・ポスター作成
ウォーキング費用	70,000	秋田県ウォーキング協会
移送費	80,000	楽器の運搬、移送など
セリオンライトアップ	40,000	蛍光管交換費用
通信費	20,000	書類郵送他
ゼッケン費	50,000	ウォーキング用のゼッケン
昼食費	100,000	1,000円×100名
雑費	50,000	事務用品、印刷、紙代など
その他	7,058	
合 計	1,457,058	

平成 21 年 7 月 1 日

文責

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

片寄 喜久